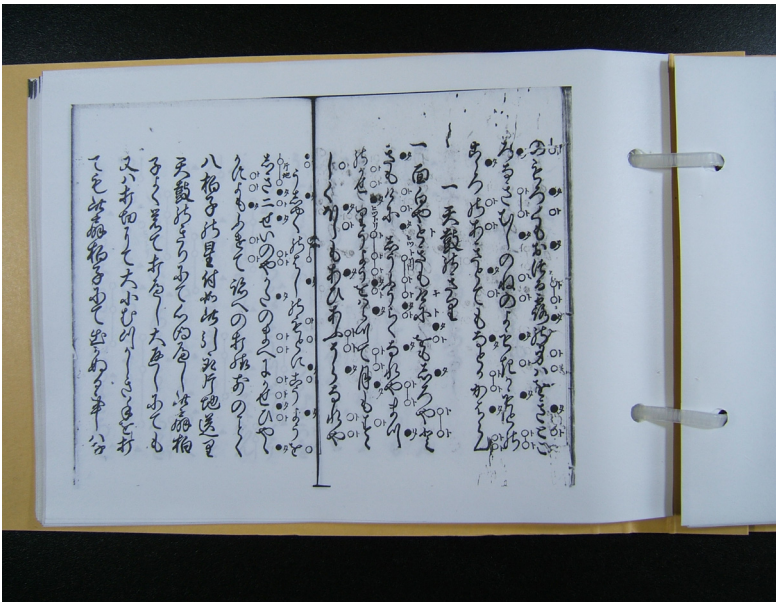


愛水子 『舞楽大全』

全二十二冊のうち、第十六巻は、謡の拍子の説明、後半は「囃打様小鼓十番星付の事」となっていて、「芭蕉以下十曲の星付（粒付）がある。写真上は、「八拍子」を「タトタットトタトト」という口拍子でしめす。「是ヲ八拍子と云。本地一くさりの間也。鼓なくうたふ時も扇にて取へし。又一丁鼓なとうたふ時も扇にて人の目にたゝぬ様に取へし」（写真上）。写真下は「天鼓のきり」の星付。



標題
内題…

標題紙…

奥附…

その他…舞楽大全（題簽）

著者
奥附…

その他の場所…愛水子（巻一 目録、巻頭）

出版
版次…

出版地…江戸

出版社…山田屋伝右衛門・口甚右衛門

出版年…貞享4（1687）

その他の場所…

形態
冊数…二十二冊 頁数…

寸法…

状態
写本版本の別…版本 現物複写の別…複写

備考
高知県立図書館所蔵本の複写。国文学研

究資料館のフィルムからの複写。